

# いせ



第71号

令和5年5月1日号

発行／伊勢市議会  
編集／議会のあり方調査特別委員会  
広報広聴検討分科会

## 市議会だより

題字 上野小学校6年 磯崎 夢珠 さん



### 主な記事

- 3月定例会の概要 ..... 2～3ページ
- 予算特別委員会の概要 ..... 4～5ページ
- 市政を問う（議案質疑・一般質問） ..... 8～15ページ
- 広報広聴検討分科会の視察を実施 ..... 16ページ

### 「五十鈴公園の桜」

市内在住の方にご投稿いただきました。

撮影日 令和3年3月30日

#### 投稿者のコメント

季節の移ろいを肌で感じる場所、ひと時の安らぎを求めて暫く止まっていた時間を顧みる

# 令和5年 3月定例会

# 令和5年度 各会計予算を可決

## 3月定例会の概要

令和5年3月市議会定例会は、2月20日から3月17日までの26日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和5年度予算や令和4年度補正予算をはじめとする49議案が提出され、本会議、予算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決・

同意、報告を承認しました。そのほか、発議を可決しました。

3月定例会提出議案の議決結果は、6ページをご覧ください。

また、2月27日、28日および3月1日の本会議では、13人の議員が議案質疑・一般質問を行いました。

議案質疑・一般質問の詳細は、8〜15ページをご覧ください。

なお、3月17日の本会議において、「令和5年度伊勢市一般会計予算」について、反対討論がありました。



本会議での市長提案説明（2月20日）

## 当初予算の概要

令和5年度  
伊勢市一般会計予算総額  
523億7350万円

令和5年度予算は、前年度予算と比較して4.5%（24億5542万円）の減額となりました。

減額の主な要因は、二見地区小中学校・保育園整備や伊勢市駅前保健福祉拠点の整備が終了したことによるものです。

令和5年度の重点施策として、「子育て・学習支援」、「切れ目のない福祉・医療の充実」、「スマートシティ推進」、「ゼロカーボンシティ推進」、「地域人材の確保・育成」の5つを掲げ、取り組むための予算編成が行われました。

## 3月定例会で審議した 主な議案の内容

### 令和4年度補正予算

令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）  
▲13億3230万5千円

通常の最終的な計数整理に伴う補正予算を計上したものの。

### 令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第9号）

1億8948万3千円

国の補正予算に伴う国庫支出金の追加配分の内示等に基づき追加補正したもの。

### 令和5年度補正予算

令和5年度伊勢市一般会計補正予算（第1号）  
7億8462万千円

新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費、国の補正予算に伴う国庫支出金の追加配分によるもの、および行政運営上早急に予算化を必要とする諸経費を追加補正したもの。

## 条例

### 伊勢市職員定数条例の一部改正

消防体制の配備人員を増強し、職員の災害活動時における安全を担保するとともに、火災、救急などの災害が重複発生した際に対応できる恒常的な勤務人員確保のため、消防職員の定数を200人から216人へ改めようとするもの。

施行期日  
令和5年4月1日

### 伊勢市営住宅管理条例及び伊勢市小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

市営住宅等の入居選考の効率化を図るために伊勢市営住宅入居者選考委員会を廃止する。また、公営住宅のセーフティネットとしての役割を果たしていくために、入居の際に必要な連帯保証人を不要とするもの。

施行期日  
令和5年4月1日

予算特別委員会を設置

2月27日の本会議において、「令和5年度伊勢市一般会計予算」外8件を詳細に審査するために予算特別委員会を設置し、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」の3つの分科会を設けました。



予算特別委員会の福井委員長（左）と鈴木副委員長（右）（2月27日）

その上で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和5年度予算について、3月2日から8日の5日間、それぞれの分科会を開催し、審査しました。

各分科会審査の詳細は、4～5ページをご覧ください。

分科会の日程

- 3月
- 2日・産業建設分科会
- 3日・産業建設分科会
- 6日・教育民生分科会
- 7日・教育民生分科会
- 8日・総務政策分科会

審査の結果

賛成多数で可決すべしと決定  
・一般会計

全会一致で可決すべしと決定

- ・国民健康保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・観光交通対策特別会計
- ・土地取得特別会計
- ・病院事業会計
- ・水道事業会計
- ・下水道事業会計

3月定例会日程

2月

20日・本会議

（議案の提案説明等）

・全員協議会

27日・議会運営委員会

・本会議（委員会審査付託・一般質問等）

・総務政策委員会

・予算特別委員会

（全体会）

28日・本会議（一般質問）

3月

1日・本会議（一般質問）

2日・予算特別委員会

（分科会審査）

（2日～8日）

・産業建設分科会

3日・産業建設分科会

6日・教育民生分科会

7日・教育民生分科会

8日・総務政策分科会

10日・産業建設委員会

13日・教育民生委員会

14日・総務政策委員会

15日・予算特別委員会

（全体会）

17日・議会運営委員会

・本会議（議案採決等）

・産業建設委員会

・教育民生委員会

・総務政策委員会



伊勢市議会委員会室



伊勢市議会本会議場

**予算審査**

**産業建設分科会（3月2日、3日）**

○一般会計

**労働費** ITパスポート資格取得支援、雇  
就労支援、障がい者雇用促進セミナーなど

**農林水産業費** ブランド化事業と6次産業化  
事業を統合した競争力強化チャレンジ応援事  
業、担い手支援、地産地消、獣害対策、水産  
振興など

**商工費** 消費生活センター、商店街のA Iカ  
メラを活用した通行量調査、地域おこし協力  
隊など

**観光費** 心のバリアフリー認定制度、クリエ  
イターズ・ワーケーションアフター事業、外  
国人観光客誘致など

**土木費** 地籍調査、通学路交通安全プログラ  
ム、駅前市街地再開発、無電柱化の推進、集  
まれこどもたち公園整備事業など

○特別会計

- ・観光交通対策特別会計 観光地の駐車場確保
- ・土地取得特別会計

○企業会計

・水道事業会計 有収率、漏水調査、改革に  
よるコストダウンなど

・下水道事業会計 雨水処理対策、多額と  
なった繰越工事への指摘など



産業建設分科会（3月2日）



（3月3日）



産業建設分科会の審査結果を報告する野崎会長  
（3月15日）

**予算審査**

**教育民生分科会（3月6日、7日）**

○一般会計

**民生費** 伊勢市駅前健康福祉ステーション、  
障がい者支援、生活困窮者支援、孤独・孤立  
対策、親子3人乗り自転車の利用など

**衛生費** 健康増進、プラスチック製品の分別  
回収、食品ロス、ゼロカーボンシティなど

**教育費** 学力向上、教員の負担軽減、学校水  
泳プール、職場体験、不登校対策、図書の整  
備、インクルーシブスポーツなど

○特別会計

- ・国民健康保険特別会計 保険料軽減、保険  
者努力支援交付金
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計 認知症賠償責任保険、  
認知症フレンドリー宣言

○企業会計

・病院事業会計 健全な経営と質の高い医療  
の提供など



教育民生分科会（3月6日）



（3月7日）



教育民生分科会の審査結果を報告する藤原会長  
（3月15日）

予算審査

総務政策分科会（3月8日）

○一般会計

総務費 電子入札システム、会計年度任用職員の処遇改善、自衛隊への適齢者名簿の提供、人事評価制度、職員採用、ハラスメントへの対応、外部人材の活用、対面窓口のあり方、スマートシティの推進、出会い・結婚支援事業、男女共同参画の推進、廃校となった小中学校の活用方法、まちづくり協議会への支援、防犯カメラの設置・維持管理、マイナンバーカード取得促進など

消防費 地域の防災力など

教育費 文化芸術活動の活性化、賓日館の空調設備整備など



総務政策分科会（3月8日）



総務政策分科会の審査結果を報告する岡田会長（3月15日）

予算特別委員会（3月15日）・本会議（3月17日）

3月15日の予算特別委員会全体会で、各分科会の会長がそれぞれ分科会審査の結果を報告し、採決の結果すべて可決されました。これを受け、3月17日の本会議で、福井輝夫予算特別委員会委員長が予算全体の審査結果を報告しました。



予算特別委員会（3月15日）



本会議(3月17日)



予算特別委員会の審査結果を報告する福井委員長（3月17日）

伊勢市議会動画配信

伊勢市議会では、<sup>ユーチューブ</sup>YouTubeを利用し、ホームページで会議の動画を配信しています。

また、いせ市議会だよりの紙面上では、動画へとリンクする二次元コードを掲載しており、スマートフォンやタブレットで読み取ると、動画が視聴できます。



## ◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

### 全会一致の案件

#### (議案)

議案番号	案件名	議案番号	案件名
2	令和5年度伊勢市国民健康保険特別会計予算	25	伊勢市職員給与と条例の一部改正
3	令和5年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算	26	伊勢市特別会計条例の一部改正
4	令和5年度伊勢市介護保険特別会計予算	27	伊勢市立幼稚園預かり保育条例の一部改正
5	令和5年度伊勢市観光交通対策特別会計予算	28	伊勢市奨学金支給条例の一部改正
6	令和5年度伊勢市土地取得特別会計予算	29	伊勢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
7	令和5年度伊勢市病院事業会計予算	30	伊勢市国民健康保険条例の一部改正
8	令和5年度伊勢市水道事業会計予算	31	伊勢市農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部改正
9	令和5年度伊勢市下水道事業会計予算	32	伊勢市産業支援センター条例の廃止
10	令和4年度伊勢市一般会計補正予算(第8号)	33	サンライフ伊勢条例の廃止
11	令和4年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	34	伊勢市営住宅管理条例及び伊勢市小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
12	令和4年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	35	伊勢市住宅新築資金等貸付事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止
13	令和4年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第3号)	36	伊勢市障がい者基幹相談支援センターの指定管理者の指定
14	令和4年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	37	市道の路線の廃止
15	令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算(第2号)	38	市道の路線の認定
16	令和4年度伊勢市土地取得特別会計補正予算(第1号)	39~40	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと
17	令和4年度伊勢市病院事業会計補正予算(第3号)	41	令和4年度伊勢市一般会計補正予算(第9号)
18	令和4年度伊勢市水道事業会計補正予算(第2号)	42	令和4年度伊勢市下水道事業会計補正予算(第3号)
19	令和4年度伊勢市下水道事業会計補正予算(第2号)	43	令和5年度伊勢市一般会計補正予算(第1号)
21	伊勢市情報公開条例の一部改正	44	伊勢市国民健康保険条例の一部改正
22	伊勢市行政不服審査法関係手数料条例の一部改正	45	伊勢市介護保険条例の一部改正
23	伊勢市附属機関条例の一部改正	46	伊勢市火災予防条例の一部改正
24	伊勢市職員定数条例の一部改正		

#### (報告)

1	専決処分事項の報告(請負契約の金額の変更)	3	専決処分事項の報告(人身・物損事故)
2	専決処分事項の報告(物損事故)		

#### (発議)

1	伊勢市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	2	常任委員会の閉会中の継続審査・調査
---	------------------------	---	-------------------

賛否の分かれた案件

〔議案〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議員名	三野	川口	大西	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世吉	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	浜口	宿
議案番号	泰嗣	浩	要一	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	和久	典泰
議案番号	案件名											審議結果												
議案第1号	令和5年度伊勢市一般会計予算											賛成多数 原案可決												
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	伊勢市個人情報情報の保護に関する法律施行条例の制定											賛成多数 原案可決												
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

・○は賛成、×は反対。品川議長は通常採決に加わりません。

## 市議会防災訓練を実施しました

3月22日、伊勢市防災センターにおいて、議会の防災訓練を実施しました。

伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）に基づいた非常通信等の訓練をはじめ、万が一の時に人命救助ができるよう応急救護訓練として、心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の使用法の普通救命講習を受講しました。



- 22日。市議会防災訓練
  - 。 広報広聴検討分科会
- 17日。議会のあり方調査特別委員会
- 15日。議会資料データ閲覧、編集についての研修会
- 14日。総務政策委員協議会
- 7日。教育民生委員会
  - 。 同協議会
- 3日。広報広聴検討分科会
- 3月
- 28日。議会ICT検討分科会
- 20日。各派代表者会議
  - 。 広報広聴検討分科会
- 20日。3月定例会
  - 。 同協議会
- 13日。議会運営委員会
  - 。 同協議会
- 8日。総務政策委員会
  - 。 同協議会
- 7日。教育民生委員会
  - 。 同協議会
- 6日。産業建設委員協議会
  - 。 議会運営委員会
- 2月

# 市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

## 13人の議員が質問

2月27日	野崎 隆太	8 ページ	2月28日	北村 勝	12 ページ
	吉岡 勝裕	9 ページ		大西 要一	12 ページ
	中村 功	9 ページ		楠木 宏彦	13 ページ
	三野 泰嗣	10 ページ		川口 浩	13 ページ
	上村 和生	10 ページ		辻 孝記	14 ページ
2月28日	吉井 詩子	11 ページ	3月1日	野崎 隆太	14 ページ
	宮崎 誠	11 ページ		宿 典泰	15 ページ

**議案質疑** …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

**一般質問** …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること



のざき りゅうた  
**野崎 隆太**

(自由民主党)

### 市長任期4年間で、2年目予算の位置づけは

**答** 目指すまちづくりに取り組む上で重要な予算であると認識をしている

動画はこちらから



議案質疑

議案第1号 令和5年度伊勢市一般会計予算

**問** 予算説明資料の重点施策は、子育て・学習支援、切れ目ない福祉・医療の充実、スマートシティ推進、ゼロカーボンシティ推進、地域人材の確保・育成、基幹産業でもある観光の記載がない。選定理由を聞きたい。

**答** 観光は、市の特徴であり基幹産業と認識をしております、令和5年度に限らず、常に状況に応じ必要な事業等を講じている。重点施策としての整理は行っていないが、これまでと変わらず重要なことと認識し、予算編成を行った。

**問** G7交通関係閣僚会合、2025年には大阪万博、次回御遷宮も控えているが、労働費、農林水産業費、商工費、観光費に新規事業の印がない。アフターコロナや物価高騰、諸課題にどう対応するのか。

**答** 御指摘のとおり新規事業はない。しかし、事業内容の中で新規の取り組みはある。例えば、心のバリアフリー推進事業。また、観

**問** 伊勢に暮らしていただく方が満足をしていただく状況が一番だと考えている。市民アンケートの状況では、現在70%前後の方々から、市内で暮らすことに満足であると回答をいただいている。これを限りなく100%に近づけていくことが私の役割だと考えている。

光庁の補助金採択に向け準備を進めている。一つは、地域と一体となった観光の再生、観光サービスの高付加価値化事業。もう一つが、地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりのモデル事業。富裕層を誘致し地方再生をさせる事業にも取り組んでいきたい。



令和5年度伊勢市予算書



一般質問



よしおか かつひろ  
**吉岡 勝裕**

(勢風会)

市内中学校における、部活動のない競技への対応をどうするか

動画はこちらから



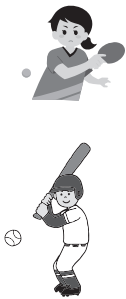
答 地域移行に関わる団体の参加が可能となるよう取り組みたい

問 中学校部活動地域移行の取り組みは。

答 1月に学識経験者や各種団体の方と情報交換会を実施した。令和5年度から休日の地域移行を段階的に進め、令和8年度の実施に向けて進めていく予定。令和5年度は検討委員会を設置し、伊勢市の実情に応じた地域移行に向けた方針を検討する。

問 中学校によって部活動の競技種目に差が生じている。競技のない学校への対応は。

答 令和4年度、6競技36名が臨時の部活動として、教員が引率して中体連の大会に参加した。中体連が認めた部活動ガイドラインに沿った活動を行っている団体については、地域移行に関わる団体として、夏の大会に参加できるよう働きかけていきたい。



物価高騰対策について

問 市民や事業者への物価高騰対策は。

答 これまで各種支援を実施してきた。令和5年度は給食食材費の支援、給付型奨学金の対象拡大や増額など負担軽減を図っている。今後も物価高騰の状況を注視し、国・県と歩調を合わせ、対応を検討したい。

問 このまま物価が高騰していくと、公共事業の委託事業者は大変である。対応は。

答 原則、契約に基づき履行していただくが、契約書で物価スライド条項の規定を設けている。請負金額が不相当と判断される場合は、契約の変更などの相談に応じていきたい。

その他の質問

・ 道路交通法改正の対応について

・ 伊勢市美術展覧会について

一般質問



なかむら いさお  
**中村 功**

(志誠会)

防災対策について問う

動画はこちらから



答 様々な場面を通じて、防災意識の向上に取り組んでいきたい

問 災害に備えた備蓄物資の現状と課題は何か。

答 備蓄計画を立て、備蓄を進めている。食料や携帯トイレ等充足していない品目については、早期に計画数量を達成していきたい。

問 食料備蓄として、アルファ化米の備蓄はしているか。

答 市の食料備蓄として、現在はすぐに食べられるクッキーを備蓄している。

問 クッキー以外に、「備蓄ゼリー」を導入する考えはないか。

答 サンプル等を取り寄せ、研究したい。

問 スマートフォンの充電ケーブル等は備蓄しているか。

答 各個人で用意していただきたい。今後、市においてならかの対応ができるか研究したい。

問 地域における備蓄はどうか。

答 各地域に自主防災隊が結成され、防災用品を備蓄していただいている。

問 自主防災隊に対する備蓄への補助率はどうか。

答 3分の2の補助を行っており、県内の中でも高い補助率である。

問 家庭における備蓄はどうか。

答 大規模災害の場合、すべての市民に物資を届けるのは困難である。各家庭における必需品については、用意していただきたい。

問 防災専用のマスコットキャラクターを新たに作り、啓発する考えはないか。

答 現在は、「いせりいちゃん」で啓発している。他市の状況も参考に研究したい。

問 学校教育における啓発はどうか。

答 防災ノートを配布し、防災教育を行っている。



非常時に持ち出す防災用品の一例

一般質問



さんの やすつぐ  
**三野 泰嗣**

(勢風会)

**伊勢のまちに活気を取り戻すため、まちのにぎわい創出について伺いたい**

動画はこちらから



**答** 神宮が御鎮座するまちとして、魅力あるまちづくりをしっかりと取り組んでいきたい

**問** 経営者の高齢化に伴い、空き店舗が増えている。その活用について、にぎわい創出をどのように考えているのか。

**答** 各商店街などと連携し、空き店舗への出店を促進する事業を実施している。また、新たに補助金交付の対象とするなど、関係団体などと連携し、空き店舗の解消を進めていきたい。

**問** アーティストなどが出店するポップアップストアを開催することで、新たな魅力を生み出すこともできると思うが。

**答** にぎわいの創出に有効だと考えているので、市の関連部署、商工団体などの関連団体とも連携をしながら、様々な方策を考えていきたい。

**問** 若者の市外流出について、市の考えを聞きたい。

**答** 若い世代に定着してもらう必要があることから、空き家の利活用を促進する事業を創設し、特に子育て世帯や市外から移住する世

帯には補助金額を加算するほか、学生向けにはインターンシップを促進する事業を実施していく。

**問** インターンシップを促進する事業の内容について聞きたい。

**答** 就活サイトにより、地元企業の魅力を知ってもらう機会を提供を行っている。若者の地元定着、移住に向け、地域企業への就職の促進を図っている。

**問** 新たな創業をしやすい支援体制が必要と思うが。

**答** これまでも創業・移転促進を図るための補助事業を行っているが、今後も若者の創業の促進にしっかりと取り組んでいきたい。



一般質問



うえむら かずお  
**上村 和生**

(新政いせ)

**教員不足で何が起るのか**

動画はこちらから



**答** 教員の業務が増えることで、細やかな対応が困難になり、授業に支障が出る恐れがある

**問** 全国的に問題となっている教員不足について伊勢市・三重県状況を聞きたい。

**答** 伊勢市では、令和4年度中は、途中での教員補充を含めて配置できたが、県内小・中学校で令和4年度当初から、教員配置ができずにスタートしたところがある。

**問** 教員志願者数の減少が続く中、教員が魅力ある職業にすることが必要と考えるが、施策について聞きたい。

**答** 伊勢市においては、スクールサポートスタッフ等の充実を図り、働き方改革を進めている。教員確保については、伊勢市だけで解決が難しいことも多い。県や国と連携し、引き続き要望等を行っていきたい。

**問** 小学校教科担任制について導入目的を聞きたい。

**答** 教材研究の充実等による授業の質の向上、中1ギャップの解消、複数教員による児童の理解、教師の負担軽減等である。

**問** 伊勢市の小学校で全ての教科まで拡大する考えか聞きたい。

**答** 文部科学省が専科指導の対象としている算数・理科・体育・外国語の4教科を中心に進める。

**問** 今後の進め方を聞きたい。

**答** 令和5年度から、市内全小学校(5・6年生)で進め、1学年に複数クラスのある学校では、それぞれの学年担任で教科別に分担する方法。また、1クラスの学校では、5・6年生担任で、教科別の分担をして、2学年を受け持つ方法等を考えている。



一般質問



吉井 詩子

(公明党)

マイ保育園制度についての認識は

答 未就園児家庭の孤立防止に有効である

動画はこちらから



移動支援について
地域介護予防活動支援
事業で行われているつきそ
い支援サービスについては、

保健師と保育士とがう
まく連携することが大事で
ある。伊勢市ならではのマ
イ保育園という形ができな
いか考えていきたい。

先進地の状況を参考に
しながら、伊勢市駅前の子
育て支援センターを中心に
地域展開を研究していきたい。

途切れない支援を充
実してきた保健師による母
子保健の分野と保育園を組
み合わせることで、支
援が深まるのではないかと

マイ保育園とは、身近
な保育園をかりつけ園と
して登録し、相談支援を行
う制度である。妊娠時から
育児体験ができ、出産後は
子供が入所していなくても
保育所に気軽に足を運ぶこ
とができる。改正児童福祉
法でいうところの身近な相
談機関の一つとなるので研
究してはどうか。

現在事業を実施している団
体にも補助要件の見直しが
あるのか。



ちよこつとデイサービ
ス実施団体の移動支援に必
要な補助額を10万円から5
万円に変更したい。

物価高騰のこの時にま
たコロナ禍の出口が見えて
きて、活動を再開しようと
いうときに減額はすべきで
ないと考えるが。

物価高騰の影響も見な
がら運営の状況を鑑みて、
また必要に応じて市の支援
内容を検討していきたい。

介護保険の住宅改修費
の利用状況と現状の課題は、

手すりの取り付けや段
差解消など、令和3年度の
利用状況は691件。利用
者が一旦全額を負担し、保
険給付分の支払いを受ける
償還払い制度が原則である
ため、利用者は一時的に経
済的負担が必要となる。

一般質問



宮崎 誠

(新政いせ)

介護保険の住宅改修および若年者がん患者
在宅支援に係る利用負担軽減について問う

答 これまで、\*受領委任払制度の導入を検討しており、令和5年度中に実施していきたい

動画はこちらから



今後どのように活用し
ていくのか。

平成30年度から7つの
事業を対象に総額約778
万円の寄付を頂いている。
財源確保の手段として、本
市の特徴的な取組のPRや
社会課題の啓発を行うため、
継続的に活用していきたい。

令和4年度4月から事
業を開始し、現在利用実績
はない。必要な方が制度を
利用できるよう、さらなる
周知が必要と考えている。

若年者のがん患者支援
について利用状況と課題は、

令和4年度4月から事
業を開始し、現在利用実績
はない。必要な方が制度を
利用できるよう、さらなる
周知が必要と考えている。

今後どのよう
に活用して
いくのか。

携が可能なふるさと納税型
クラウドファンディングを
活用する考えは。



ふるさと納税型クラウド
ファンディングについて

今後どのよう
に活用して
いくのか。

ふるさと納税。ポータル
サイト「ふるさとチョイス」
の広域連携ガバメント
クラウドファンディングを
これまでも活用している。
今後も他自治体が実施して
いる案件や達成状況なども
参考にしながら、実施事業
の選定を行っていく。

本市の活性化につな
が、市内外から共感や応援
いただける特色ある事業を
選定し、SNSなどを活用
し広くPRを行い、共感や
応援の輪を広げていきたい。

\*受領委任払制度...介護保険における住宅改修費等の支払いの際に、利用者がその支給に関する受領の権限を事業者に委任することで、利用者の一時的な負担を軽減する制度のこと。
\*ふるさと納税型クラウドファンディング...応援したい地域に前向きな気持ちで納税ができる「ふるさと納税」と、応援したい活動を支援する「クラウドファンディング」のそれぞれの特徴を生かして寄付を募る仕組みのこと。

一般質問



きたむら 北村 まさる 勝

(勢風会)

### 再犯防止条例の制定に努めてほしいが

動画はこちらから



答 当面は推進計画にて横断的な支援をしていきたい

**問** 犯罪被害者等支援条例および再犯防止推進計画の取り組みについて聞きたい。

**答** 犯罪被害者支援に寄り添った対応を迅速に行う。再犯防止推進に向け、重層的な支援体制を充実し、安心して生活できる環境の調整に努める。また、多分野協働プラットフォームや駅前の健康福祉ステーションにおけるハローワーク伊勢との連携により、就労支援の強化に取り組んでいく。

**問** 麻栽培の取り組みについて

**問** 市内の「伊勢麻」振興協会が栽培する神事・産業用大麻について聞きたい。

**答** 麻葉成分が基準以内で保健衛生上のリスクは極めて低い。神事や伝統文化への麻の活用は現状の把握が必要である。今後、文化政策としてどのような関わり方ができるか、関係機関と協議していきたい。また、市民等へは県と連携をして、今後安全性の情報発信を正確・丁寧に行い、栽培者に



宮川大橋付近の堆積土と繁茂する雑木の状況

も寄り添った対応を努めたい。

**問** 河川の整備状況について

**問** 宮川の堤防整備の現状は。また、宮川大橋付近に堆積土が点在し、樹木が繁茂している。昨今の豪雨による洪水などの災害発生を防ぐため、早急に浚渫をする必要があるのでは。

**答** 宮川の堤防整備は、現在、汁谷川との合流地点から宮川親水公園付近にて工事を進めている。浚渫については、定期的な測量や樹木の繁茂状況を確認し、流下能力に支障をきたす恐れがあれば実施すると聞いているので、国と情報共有し、適切な管理に努めていきたい。

一般質問



おおにし 大西 よういち 要一

(勢風会)

### スマート農業化など転換期を迎える農業の現状と展望を聞く

動画はこちらから



答 今ある課題を整理し、戦略的に農業のイメージ・魅力をアップしていきたい

**問** 営農者の高齢化が進んでいると思うが、支援策などを聞きたい。

**答** 農作業の軽減のため、農道の舗装、農業排水路の天端や法面のコンクリート化などのハード整備をしている。

**問** デジタル化の進展によりスマート農業化が進んでいると思うが、取り組みを聞きたい。

**答** バラハウスの環境管理を遠隔操作するシステムや、GPS付田植え機、トラクター、ドローン、収量コンバインなど、ICTを用いた機械・設備の導入への財政的な支援をしていく。

**問** 広大な遊休農地があり、病害虫や雑草の被害、子供たちの防犯上のことも危惧されるが、解消策を聞きたい。

**答** 地域の担い手を中心として、農地の集積・集約化を決めるときに、遊休農地も活用していく。また、各地域の多面的組織においても、良好な景観形成を図るため、遊休農地に景観植生



ドローンを活用した農業散布

を行うなどの取り組みを推進している。

**問** 農業の変革期と思うが、今後の展望を聞きたい。

**答** 伊勢の特色ある農産物の横輪いもや新たな観光資源としての地元生産ワイン、地元産農産物を副原料にしたビールのブランド化、教育機関・農商工・農業と福祉の連携による6次産業化など、競争力強化にチャレンジする取り組みに支援を行っていく。

一般質問



くすき ひろひこ  
楠木 宏彦

(日本共産党)

中学校部活動への参加が任意であることは周知されているか

答 市内すべての公立中学校で入部は自由だが、周知するよう指導していく

動画はこちらから



問 文部科学省の新しい生徒指導方針（『改訂生徒指導提要』）に対応した方向性は。

答 スクールカウンセラーなど専門家と協働しつつ、チーム学校を重視して、組織的な指導体制を整備し、教員の同僚性を高めていく。

問 『提要』では、大声で怒鳴る、威圧的な言動で指導するなど、不適切な指導は許されないと指摘されているが。

答 不適切な言動は根絶すべきものとして、校長会等で指導・伝達していく。

問 校則の見直しの状況は。

答 絶えず見直しを行うよう求め、今年度も各校に求めている。各校の情報交換も行っている。

問 校則をHPで公表していくことが『提要』では勧められているが。

答 各校に勧め、取り組んでいきたい。

問 教員の超過勤務の実態は。

答 本年1月、月45時間以上の教員が9%、80時間超

過が5人いた。各学校に指導を行い、引き続き縮減に取り組んでいく。

問 学校教育費の保護者負担の軽減について聞きたい。

答 学校指定の学用品は、値段が張る場合があるが、なるべく廉価なものを考えている。県が提供している無償のドリル教材を利用したり、体操服等を自由化したりして、学用品費の軽減を図っている。改善できるところは改善するよう学校に指示している。

問 学校給食費の無償化に踏み出せないか。

答 一律に無償化するのではなく、公平で持続的な支援の方法を研究している。



一般質問



かわぐち ひろし  
川口 浩

(日本共産党)

未就学児に加え、小中学生の医療費窓口負担を無料化できないか

答 国庫補助金の減額措置廃止を国に重ねて要望する

動画はこちらから



問 窓口負担無料化の拡大は、国から国民健康保険の国庫補助金減額というペナルティがあると聞か。

答 医療機関の受診が増える波及増とみなされ、その分を市が全額負担することになっている。

問 市は平成30年9月に未就学児の窓口負担無料化を始めたが、不要不急の受診は増えたといえるのか。

答 平成29年と令和元年を比較すると、未就学児一人当たりの助成件数は8.2%伸びた。ただ、不要不急の受診が起きたかどうかの判断は難しい。

問 子育て世帯を一律支援するため、こども医療費助成の所得制限を撤廃してはどうか。所得制限の対象者数、撤廃で増える費用は。

答 県の補助基準を超えてしまう。令和3年度末時点で936人、2500万円増と試算している。

加齢性難聴者への補聴器購入助成について

問 加齢性難聴は高齢者の社会参加を困難にしている。実態把握のため、特定健診に聴力検査の項目を加えてはどうか。

答 特定健診は、生活習慣病やその重症化予防のため行っている。項目の見直しについては、さまざまな調整が必要になる。

問 一部自治体で実施されている補聴器購入者への助成を検討してほしい。

答 県内でもほとんどの自治体は実施していない。全国市長会を通じ国に要望しており、今後の動向を注視しながら検討したい。



一般質問



つじ 孝記

(公明党)

脱炭素社会に向けGXが必要だが、どう取り組むのか

動画はこちらから



答 社会全体の変革、ライフスタイルの転換を推進する

**問** 省エネや循環経済の構築や再生可能エネルギー等の普及拡大による地域のGXが必要だ。また、温室効果ガスの排出源の6割が衣食住である。どのように考え、取り組むのか。

**答** 化石燃料中心の産業構造・社会構造からクリーンエネルギー中心へと転換する社会全体の変革であり、企業活動や地域活動、ライフスタイルの転換等、市民に啓発し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していく。

**問** 国等の多くの補助制度を市民に分かりやすい形で紹介する冊子等を作成する考えはないか。

**答** 補助制度を分類し、分かりやすい冊子やチラシを作成したい。

**問** 安全で安心な子育て環境の整備について

**答** こども医療費助成制度の高校生までの拡充について、国や県から財政支援があれば、医療費助成制度の



拡充をしようか。

**答** 財政的なことが課題である。財政支援があれば、実施に向けた後押しになる。

**問** 奨学金代理返還をする企業への支援について、どのように取り組むのか。

**答** 支援の在り方について先進地の事例も参考に検討していく。

その他の質問

- ・障害者医療費の助成拡充について
- ・重度障害者タクシー料金助成事業の拡充について

一般質問



のざき りゅうた 野崎 隆太

(自由民主党)

市の児童数の4分の1を超える児童が通う存続校の学校施設の更新について聞きたい

動画はこちらから



答 計画的な整備を実施することにより、安全安心な教育環境確保に努めたい

**問** 第1期統合校は残り2校。速やかな第2期のスタートに向けて助走をしていく考え方も必要ではないか。第2期の検討状況について聞きたい。

**答** 基本計画では第1期終了の見込みが立った時点で、第2期の計画の見直しを行うとしている。現在、第1期において早修・中島・佐八小学校、及び豊浜東・豊浜西・北浜・東大淀小学校の統合時期の検討を行っているが、近年、児童数の推移に変化が見られることから、統合時期の決定に至っていない状況である。

**問** 内陸部、沿岸部の児童生徒数の変化は、計画に影響を与えるようなずれが出ていると考えてよいか。

**答** 児童数が予測と実数とで違ってきているという点では、おっしゃるとおりの状況である。

**問** 児童生徒数の推移をみて時期を待つことは、学校の規模、無駄のないようにという事からも理解する。



4月に開校した二見浦小学校・二見中学校

しかし、計画が進まないために第2期計画も全部止まるのは良い事ではない。第2期の検討も同時に進めていくべきではないか。

**答** 計画では第1期終了後、第2期の検討を開始するとなつてはいるが、併せて検討していく必要がある。

**問** 存続校には建築から5年以上経っている学校が複数ある。第2期計画の完了を待つてから検討すると考えると不安になってくる。認識を聞きたい。

**答** 施設の劣化度や児童生徒の状況に合わせて施設整備が必要と考えている。緊急性・必要性などを考慮しながら実現可能な整備を進めたい。

※GX…グリーントランスフォーメーション。クリーンエネルギーを主とした社会システムへの変革を目指す取り組み。

一般質問



しゅく のりやす  
宿 典泰

(政友会)

伊勢市上水道事業・下水道事業の将来の課題について聞きたい

動画はこちらから



答 上水道・下水道事業両事業の経費削減に努め、安定運営に努めていきたい

**問** 上水道事業の令和11年度以降の収支を聞く。

**答** 令和11年度以降はさらに厳しくなると想定している。

**問** 令和3年度の決算値で有収率84.9%となった。水道事業ビジョンの目標値を5.4%下回ったが、原因を聞く。

**答** 令和3年度の漏水率が13.6%となり、有収率に反映できていないためである。

**問** 令和10年度の企業債残高のピークは63億円強とあるが、増加しないか聞く。

**答** 給水収益とのバランスを考慮し、慎重に検討したい。

**問** 令和5年度は水道事業ビジョン策定の5年目となるが、財政収支の再検証を聞く。

**答** 広域連携による経費削減なども見直しに反映していく。

**問** 下水道事業の課題は、令和5年度末で933億円の投資が行われ、令和7年度完成目標として毎年20億円強の一般財源が入れられている。今後の状況について聞く。



黒瀬ポンプ場

**問** 令和5年度には処理区域面積1998ヘクタール、普及率61.9%を見込んでいる。事業に必要な費用を下水道使用料で賄っていない状況であり、下水道使用料の増収、経費の削減に努めていきたい。

**答** 支障物件協議、工程調整などの原因があり、整備を進める上で大きな課題であり、削減に努める。発注についても分散していく。

**問** 汚水事業は雨水事業の3.8倍の事業費があり、浸水対策を強力に推進との要望があるが。

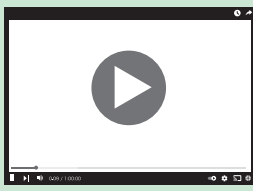
**答** 国・県と連携し、浸水対策に力を入れていきたい。

※有収率…総配水量に占める料金収入の対象となった水量の割合。  
 ※水道事業ビジョン…水道事業が抱える様々な課題に対して10年間の取り組みを示した計画。(2019年3月策定)  
 ※漏水率…総配水量に占める漏水量の割合。  
 ※普及率…行政区域内人口に占める下水道を利用できる人口の割合。

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。



伊勢市議会動画配信 検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。

3月定例会会議録

3月定例会の詳細は、「3月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ6月下旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

世古明議員が失職

新政いせの世古明議員が三重県議会議員選挙に立候補したため、令和5年3月31日付で市議会議員の職は自動失職となりました。

6月定例会は、**6月19日～7月5日**の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

## 表紙の題字は

上野小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は磯崎さんの「いせ」を採用しました。次回は小俣小学校の皆さんの中から採用予定です。



### 将来の夢

私は細かい作業が好きです。最近、ネイルチップを作るのに熱中しています。将来はネイリストになりたいです。

上野小学校6年 いそざき 磯崎 ゆづ 夢珠

## 広報広聴検討分科会の視察を実施しました

他の市議会の先進的な取り組みについて、調査・研究するため、令和5年1月30日～31日に視察を実施しました。

**視察先 静岡県富士市議会**  
**日程 1月30日**

### (富士市議会の主な取り組み)

- 平成23年度から議会モニターを実施し、議会への関心を持ってもらうとともに議会運営の疑問点などを聴き、議会改革に繋げています。
- 議会報告会を平成23年度から平成30年度までは、全ての地区まちづくりセンターで実施できるよう6班編成で、令和元年度からは常任委員会単位で実施しています。
- 政治や選挙をより身近に感じてほしいという高校側からの要請により、平成28年度から高校生との懇談会を実施しています。
- その他、広報広聴に関する取り組みでは、市公式SNSやコミュニティFMを活用し、会議日程のお知らせなどを行っています。



静岡県富士市議会での視察

**視察先 神奈川県秦野市議会**  
**日程 1月31日**

### (秦野市議会の主な取り組み)

- 議会や議員のことを知ってもらうため、平成28年度から市内在住・在勤・在学の団体やグループを対象に出前講座を実施しています。
- 議会報告会は、平成24年度から実施し、これまでに手法を変えながら計9回開催しています。平成30年度からは、常任委員会単位で所管事項に関係する団体と意見交換を行っています。
- 平成28年度から夏休み子ども議場見学会を実施しています。対象は小学3～6年生とその保護者で、夏休みに実施しています。
- その他、広報広聴に関する取り組みでは、議員自らがアプリで作成したマンガにより議会の役割などについて、ホームページや市の公式ライン、ツイッターなどで発信しています。また、令和4年度には議場で市民団体による議場コンサートを実施しています。



神奈川県秦野市議会での視察

### 問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）  
〒516-8601  
伊勢市岩渕1丁目7番29号  
☎ 0596-21-5630  
FAX 0596-21-5631  
✉ gikai@city.ise.mie.jp

### 編集

議会のあり方調査特別委員会 広報広聴検討分科会

会 長 上村 和生      委 員 久保 真  
副 会 長 藤原 清史      井村 貴志  
野崎 隆太  
野口 佳子